



府中病院で活躍する
「感染管理認定看護師」



感染制御室

感染管理認定看護師の仕事とは？

日々発展を続ける医療環境の中で、感染対策は医療安全と共に大きな課題となっています。地球規模でみると2002年に中国、香港で**重症急性呼吸器症候群（SARS）**、2012年に韓国で**中東呼吸器症候群（MERS）**が、2014年には西アフリカで**エボラ出血熱**が流行しました。

2019年からは**新型コロナウイルス感染症**が世界中で感染拡大しています。日本においても新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、流行期には多数の患者さんが病院を受診し、症状に応じて入院治療を行っています。

このような状況のなか、病院では通常診療を維持しながら感染症に対して**感染予防・管理・監視**を行わなければなりません。感染管理認定看護師は、看護の専門職として様々な職種と連携・協力して**感染防止対策**を病院全体で実施し、**安全な医療**を提供することで患者さんや病院職員の健康を守ります。

コロナ禍における感染管理認定看護師の役割

本邦では**2020年1月16日に第1例目のCOVID-19患者が確認**され、その後、急激に全国へ拡大しました。2020年2月には保健所から府中病院に感染が疑われる患者さんの診療、検査の依頼があり、**感染管理認定看護師はCOVID-19患者に対する窓口として対応**しました。当初はCOVID-19に関する情報や治療薬もなく、病院に来られる多くの患者や職員への感染を避けるため、**外来の一部をゾーニングし完全に動線を分離**しました。



また、診療を担当する医療者も医師、感染管理認定看護師含め数名に限定し、**医療者の感染を防ぐため診療時にはフルPPE（アイソレーションガウン、N95マスク、キャップ、フェイスシールド、グローブ）**で対応しました。全国的に感染拡大するとPPEの需要が高まり確保が困難となる中、行政からの支援によりなんとかPPEを確保し診療を継続できたことを記憶しています。

日を追うごとに受診依頼は増加し2020年3月には当院で初のCOVID-19の陽性者が確認されました。当初は外来診療のみの対応でしたが、2020年11月からは入院の受け入れも行うようになり、**感染管理認定看護師として、受け入れ病棟のゾーニング、患者専用の医療器具や物品の確保など関係部門と連携し整備**を行いました。また、病棟の看護師、担当医に対してPPEの着脱訓練を行い職員の安全確保を行いました。

入院の必要な患者は大阪府の入院フォローアップセンターからの入院要請に基づき受け入れを行っています。現在では第7波となり、今までにない多くの感染者数となりました。2021年度の入院患者は251名でしたが、2022年度の9月現在で既に255名となり、病床も41床に増加して入院受け入れを行いました。

ようやく第7波も終息の兆しを見せていますが、高齢者施設でのクラスター発生が続いている影響で入院要請は続いている状況です。人類が初めて経験するCOVID-19、今後どのような状況になるか不明ですが、感染管理認定看護師として**患者と職員の安全を第一**に考え専門職としての役割を担っていきたいと思います。

府中病院での活動

病院内の感染防止対策は感染対策チーム（ICT）が中心となり実践しています。主なチームメンバーは医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師で、**それぞれの専門的な視点で感染防止対策や感染症診療を行います。**

ICTでは病院内でどのような感染症患者在治療を行っているのか、感染症治療に使用される薬剤の種類や使用量などを監視しています。また、病院内の衛生管理について定期的にラウンドを行ってチェックしています。アドバイスした内容を職員が実践することで、患者さんと職員ともに感染のリスクを負うことなく安心して最良の医療が提供できた時は「良かった」と感じます。また、定期的に職員研修を行い、**全職員で感染防止対策に取り組んでいます。**

さらに地域の方々に対して「市民講座」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で現在は実施できていません。再開できるようになれば多くの皆さまに情報提供したいと思います。



今後の目標

新型コロナウイルス感染症や季節的に流行するインフルエンザやノロウイルス感染症の蔓延期にはひとつの病院だけではなく、**地域ぐるみの感染防止対策が必要**となります。泉州地域では28の病院と和泉・岸和田・泉佐野保健所を含めた**泉州感染防止ネットワーク**を発足し、定期的に合同カンファレンスを開催して感染症の流行期における感染防止対策を検討しています。

今後は、さらに**高齢者福祉施設を含めたネットワークに拡大し地域の感染防止対策の向上を目指したい**と思います。

外来栄養指導のご案内

当院では、地域の皆様の食生活をサポートするため「かかりつけ医」の先生方からご依頼いただいた患者さんに対し「**個別の栄養指導**」を行っております。

「**心疾患**」「**高血圧**」「**糖尿病**」の患者さんで
「**血圧が高め**」「**血糖値が高め**」「**コレステロールが高め**」
「**減量が必要**」など普段の食事をどのように工夫して良いか悩まれている患者さんがいらっしゃいましたら地域医療連携室までご連絡ください。

簡単減塩
レシピ

まいたけ入り栗ごはん

おかずの塩味が引き立つ「塩分ゼロ」の栗ご飯です！



材料

米 0.5合
もち米 0.5合
栗の甘露煮 100g
まいたけ 1/2房

作り方

- ① 米ともち米を混ぜ合わせて研ぎ、1合の目盛りまで水を入れる。
- ② 栗の甘露煮は汁気をよく切り、まいたけは小房に分ける。
- ③ ①に②をのせて、炊飯する。

【1人分】 252kcal 食物繊維 1.8g 塩分 0g

《送迎サービスのご案内》

登録医の先生方に送迎サービスのご案内をさせていただきます。紹介患者さんが当院を受診される際、**ご自宅（玄関先）から府中病院まで**、車での送迎をさせていただきます。



ご高齢の方で交通手段がない方・足の不自由な方などで、ご希望がございましたら**予約時**に地域医療連携室までお申し付け下さい。

送迎範囲	和泉市・泉大津市・高石市・忠岡町・岸和田市 (上記以外の地域の方はご相談ください。)
対象検査	・MRI ・CT ・胃カメラ ・生理検査（超音波検査など） (その他の検査はご相談ください。) ※診察、大腸カメラは終了時刻に個人差がある為、送迎は承っておりません。

2022.10月

第31回病診オープンカンファレンス（外科）

※ハイブリッド開催・事前申込制

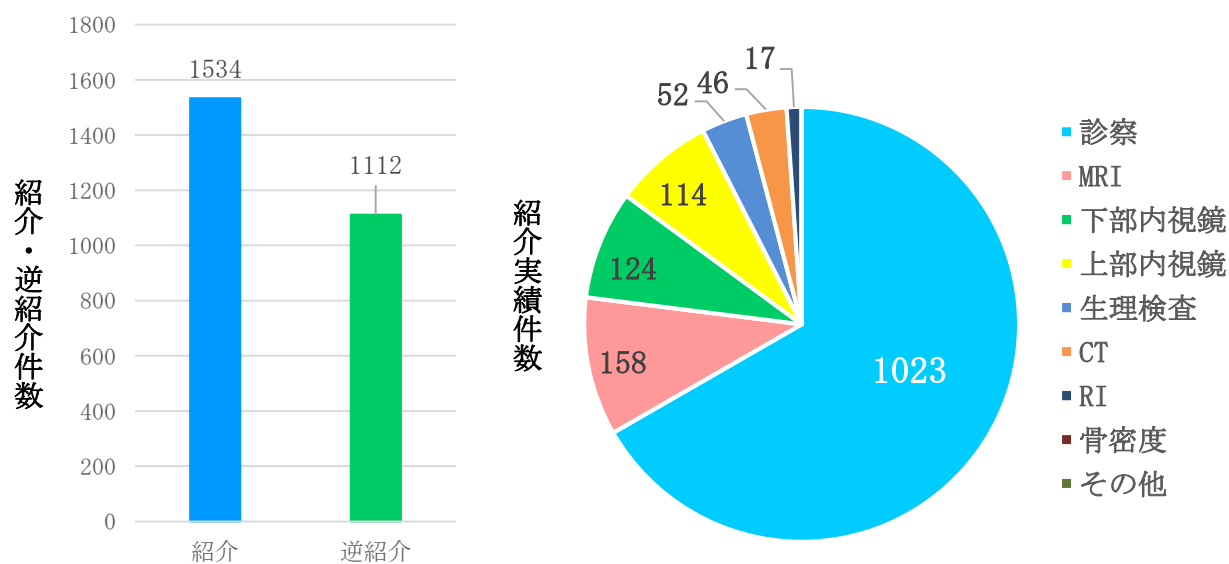
当院外科にご紹介いただいた患者さんの症例検討

日時：2022年10月22日（土）15：00～16：00

お申し込みは地域医療連携室

0725-40-2147 までご連絡下さい。

紹介実績 〈2022年8月〉

府中病院
ホームページ府中病院
facebook生長会・悠人会キャラクター
にこまる

ねっとわーく Vol.229

発行責任者：院長 竹内 一浩

編集責任者：地域連携部 家口 尚

編集者：地域医療連携室 鶴 真紀子

〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号 府中病院地域医療連携室

TEL：0725-40-2147 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147

FAX：0725-40-2148 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現

地域と職員と共に栄えるチーム

Yu·ki·to·do·ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして

チャレンジします。

3つのベストにチャレンジします。